

第 12 回「大伴家持卿顕彰詩歌の会」開催について

一、趣旨

放生津八幡宮は、万葉の景勝地「奈呉の浦（現在の富山湾）」に面して建立されました。文学博士佐々木信綱氏が昭和 14 年(1939)に揮毫した家持卿の歌碑がありますが、家持卿がこの奈呉の浦をこよなく愛したことが伺えます。

元禄 2 年(1689)、曾良の日記によれば、松尾芭蕉が万葉の景勝地を訪ねて「奈呉の浦」の景色を眺めたことが記されております。この事を記すため天保 14 年(1843)に境内地に芭蕉の句碑が建立されました。

こうした大伴家持卿の文化的な功績を称え家持卿を当宮創建の祖として境内に祀り、顕彰碑を文化 13 年(1816)に建立されました。

以上を踏まえ地元の人々は家持卿や芭蕉翁の功績をとおして日本文化を絶やさないためにも歌会や句会を開催してきました。

先人たちの意思を継承し、短歌や俳句をとおして、自然や風土を見つめなおし、郷土の良さを再認識する機会になることを望み「大伴家持卿顕彰詩歌の会」と名付け、作品募集を行っています。

二、詩歌募集要項

(一)作品募集の案内「応募作品」

(イ) 短歌部門

(ロ) 俳句部門

「年齢区分」

①一般（高校生以上）

②児童・生徒（小・中学生）

なお、作品は未発表のものに限ります。また、お一人様各部門ごとに三首（三句）までとします。

作品は楷書で書き、難しい読みにはルビをふって下さい。題材は自由で、祖霊社祭にこだわる必要はありません。※応募作品には住所・氏名・年齢（学生の場合は学年を記載）・連絡先を御記載下さい。※参加費は無料。

(二)『応募方法』

郵送又は直接放生津八幡宮社務所までご持参下さい。

なお、FAX、メールによる応募も可能です。

受賞者には通知を致しますので、通知が届く住所、連絡先をお忘れなくご記載ください。不明な点は、放生津八幡宮社務所「第 12 回大伴家持詩歌の会」事務局までお問い合わせ下さい。

(三)『応募締切』

令和4年8月3日(水)まで

(四)『表彰』

表彰式は8月27日(土)に齋行する祖霊社祭(放生津八幡宮境内)にて表彰致します。
受賞者には表彰式前までに通知を致します。

優秀作品及び作者名は、放生津八幡宮広報誌等に掲載する場合がありますので、予めご了承ください。

※祖霊社祭：令和4年8月27日(土)午後4時より齋行

(五) 評価方法

作品評価は互選のうえ、有識者及び責任役員等を含む実行委員会選定の選考人による点数により優劣を吟味致します。

【参考：作品評価のポイント】

- ・国語的、文法的な表現が正確である。(基準点)
- ・俳句・短歌の規則を理解している。(基準点)
- ・情景が浮かぶ。
- ・古典を理解している。
- ・芸術的である。
- ・奇をてらったものでない。

主 催 「大伴家持卿顕彰詩歌の会」実行委員会実行委員長 安田泰博

後援 北日本新聞社問い合わせ 放生津八幡宮社務所(事務局)

〒934-0025 射水市八幡町 2-2-27

TEL (0766)-84-3449 FAX(0766)-75-1254

メールアドレス houjyoudu8shrine@gmail.com